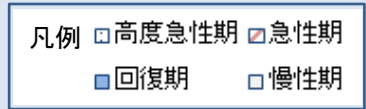


# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

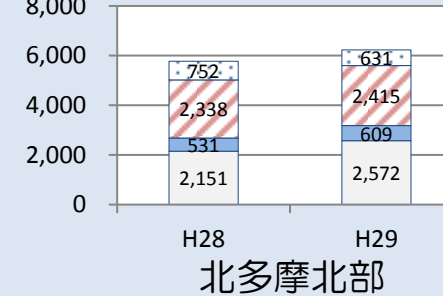
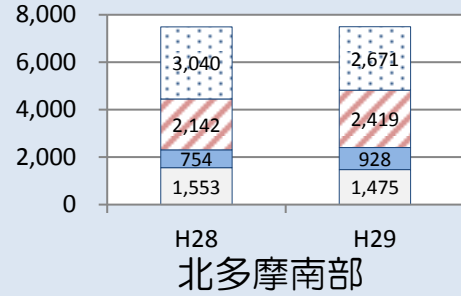
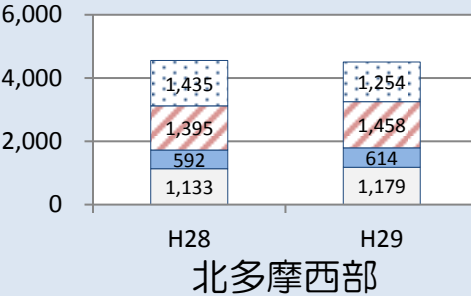
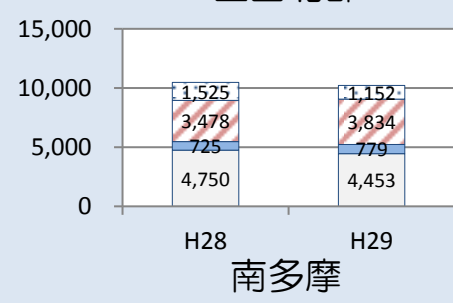
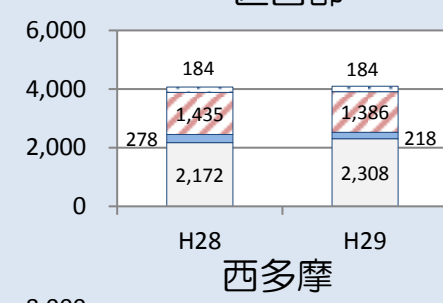
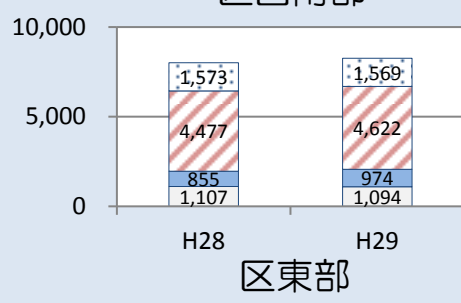
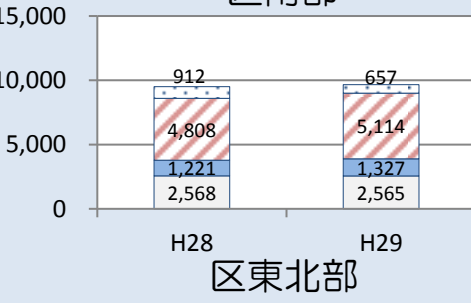
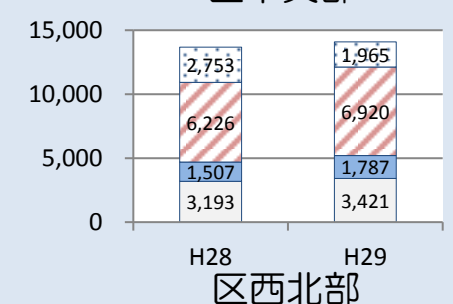
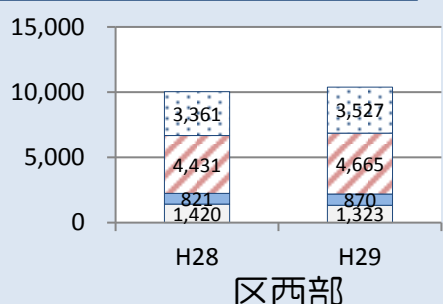
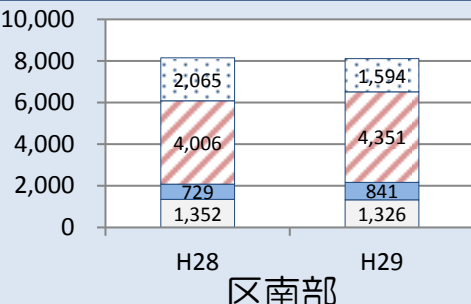
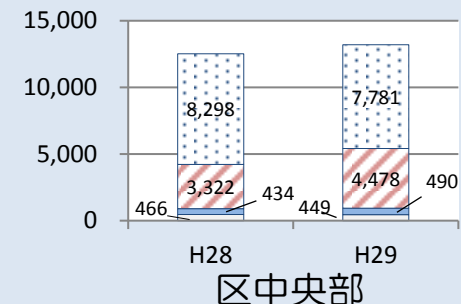
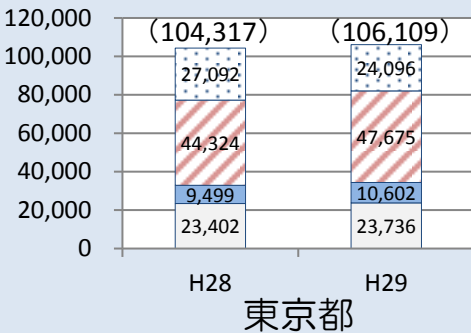
## H28-29比較 <4機能別許可病床数>



### <結果の概要(東京都)>

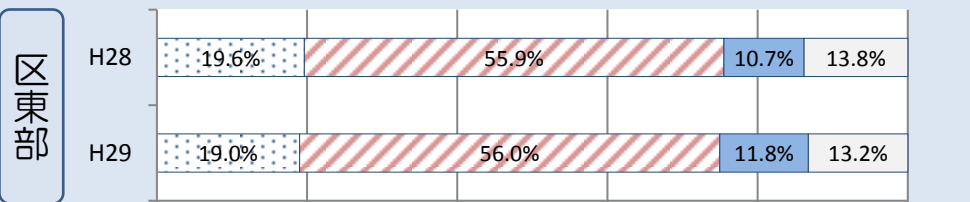
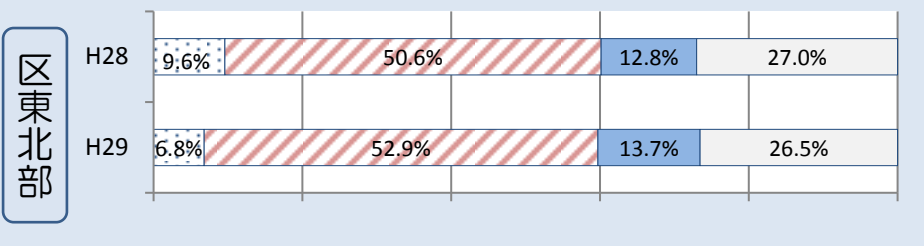
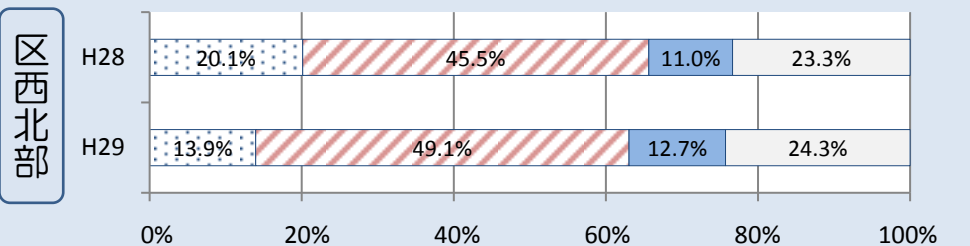
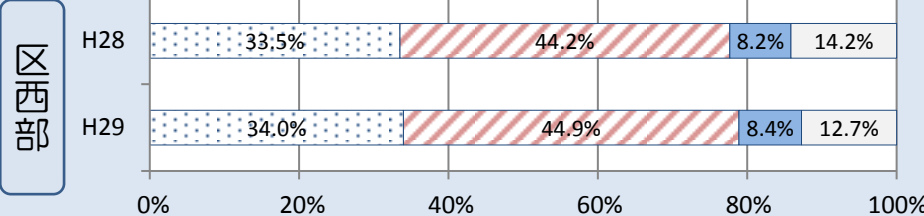
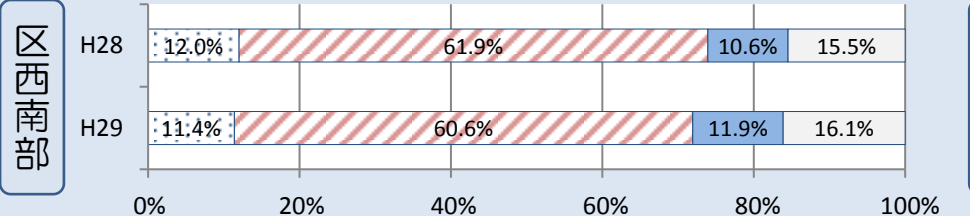
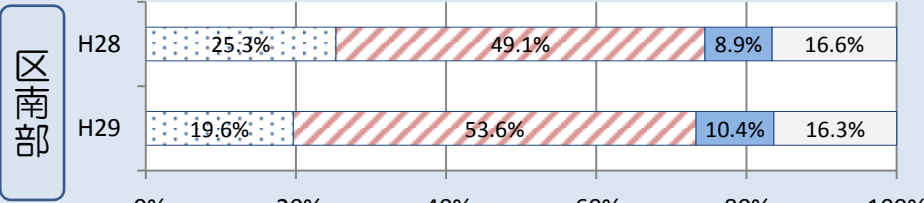
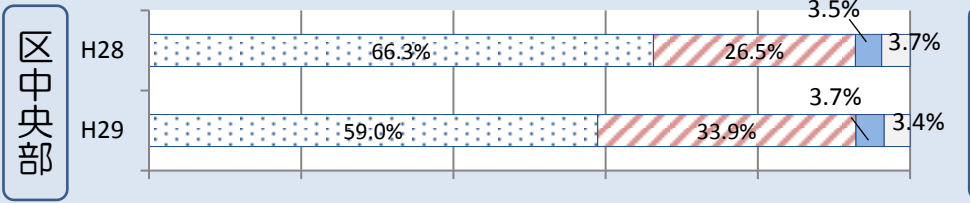
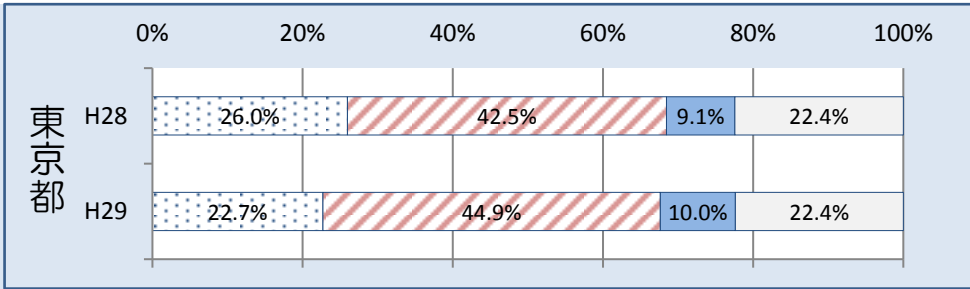
○平成28年度結果に比べ、病床数全体は、1,792床増

(機能別増減) 高度急性期機能	2,996床減
急性期機能	3,351床増
回復期機能	1,103床増
慢性期機能	334床増



# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合/区部>

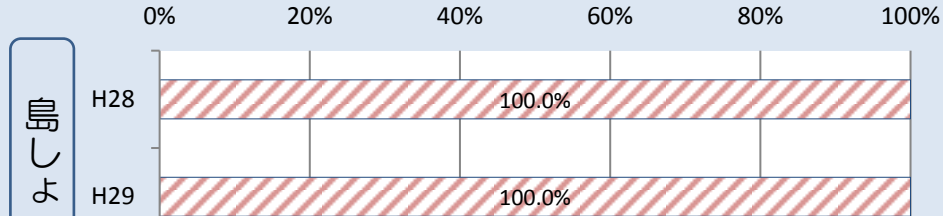
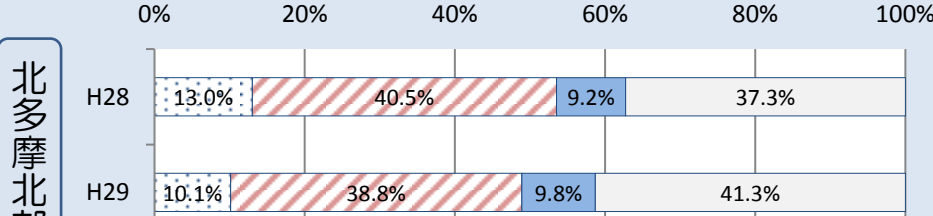
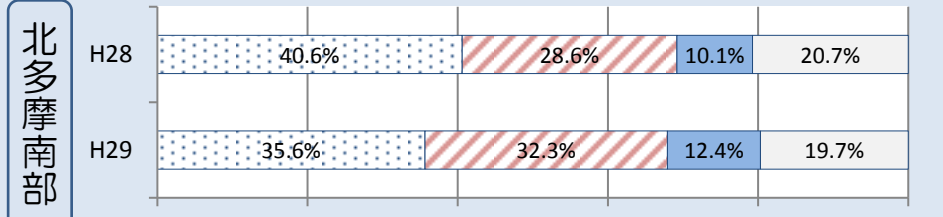
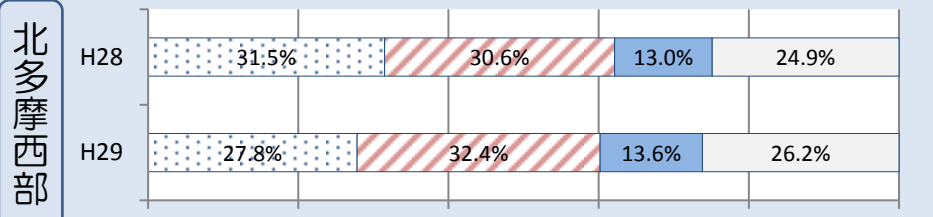
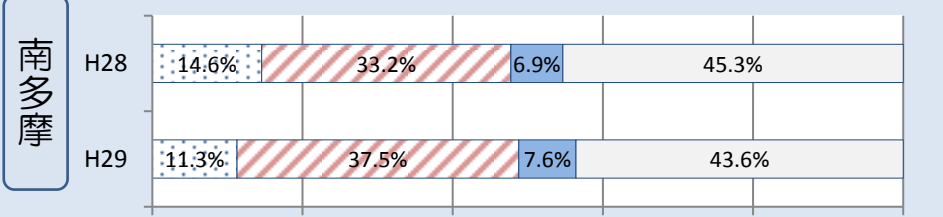
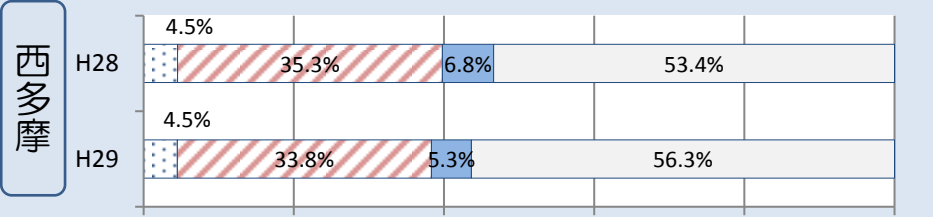


凡例

- 高度急性期
- 急性期
- 回復期
- 慢性期

# 平成29年度病床機能報告結果(速報値)

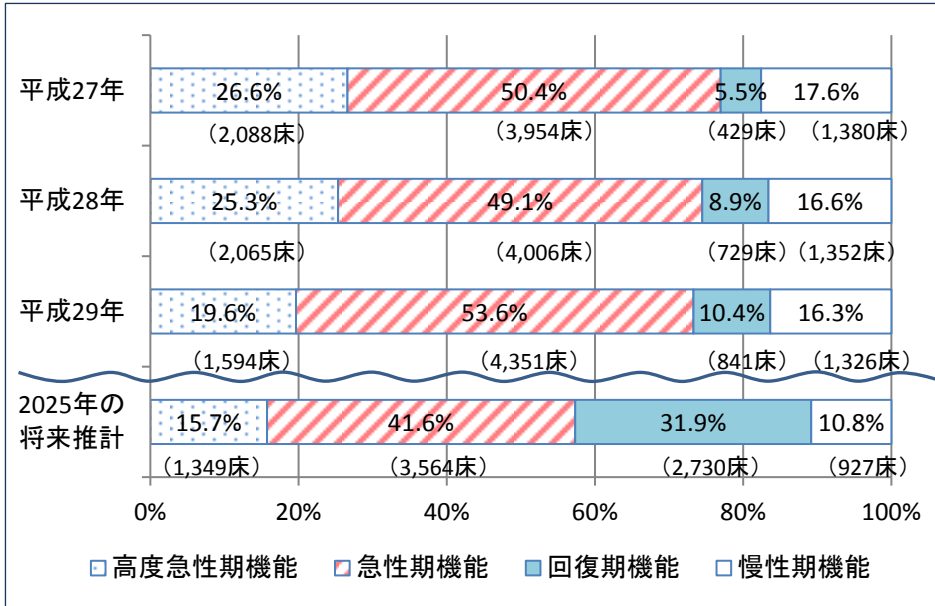
H29-28比較 <4機能別許可病床数の割合／多摩・島しょ>



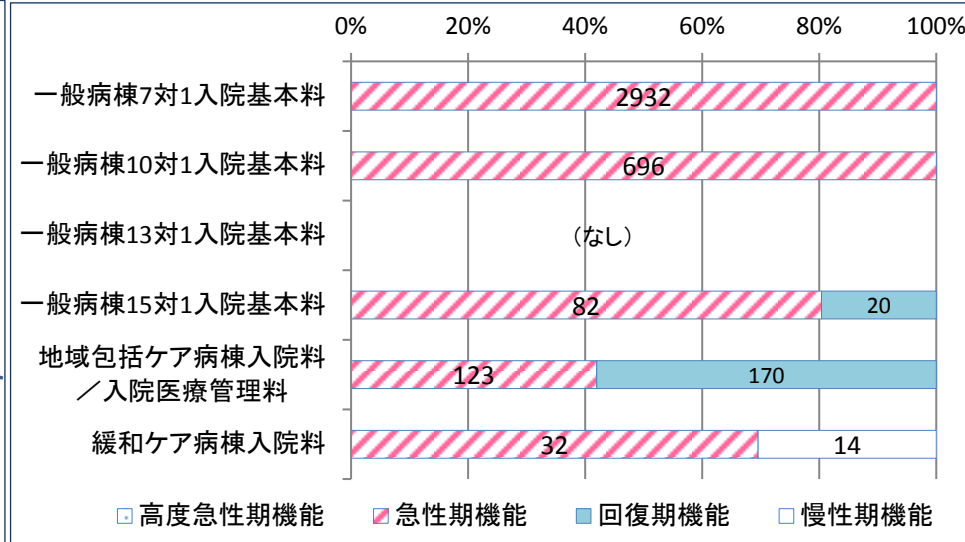
凡例

- 高度急性期 (dotted pattern)
- 急性期 (diagonal stripes)
- 回復期 (solid blue)
- 慢性期 (solid light blue)

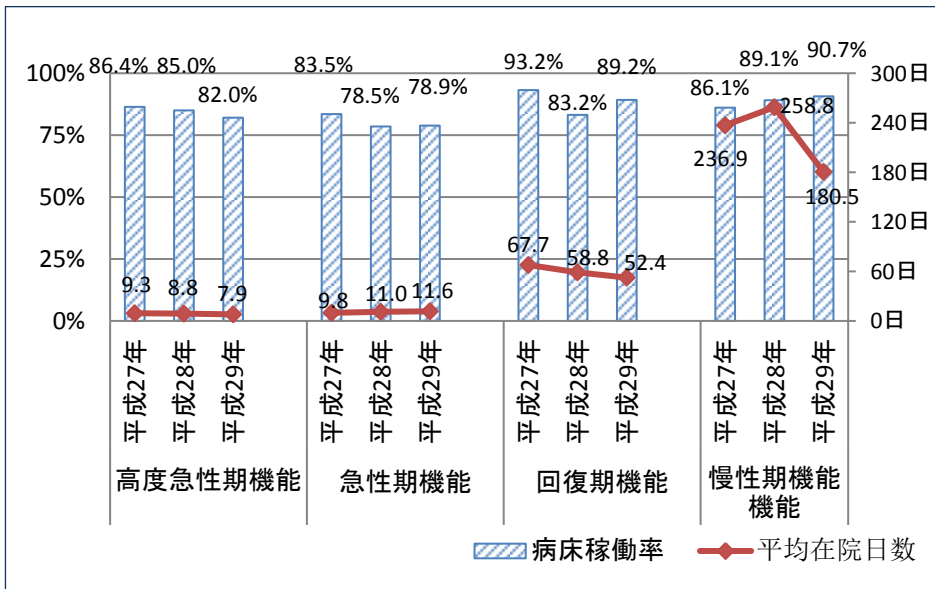
①4機能別病床数の推移(平成27年度～平成29年度)



③入院料×機能



②病床稼働率と平均在院日数の推移(平成27年度～平成29年度)



④退院後1ヶ月以内に在宅医療を必要とする患者の割合

機能	在宅医療を必要としない患者(死亡退院を含む)	自院が在宅医療を提供する予定の患者	他施設が在宅医療を提供する予定の患者	在宅医療の実施予定が不明の患者
高度急性期機能	3,120 (97.8%)	0 (0.0%)	70 (2.2%)	0 (0.0%)
急性期機能	6,504 (90.5%)	34 (0.5%)	602 (8.4%)	50 (0.7%)
回復期機能	211 (61.0%)	7 (2.0%)	102 (29.5%)	26 (7.5%)
慢性期機能	112 (84.2%)	3 (2.3%)	8 (6.0%)	10 (7.5%)

⑤退院調整部門を置いている病院の割合 58.1%(前年度48.8%)

- ①高度急性期機能が減り、急性期・回復期機能が増(過去3か年)
- ②高度急性期機能以外で病床稼働率が伸びている(28・29年比) 急性期機能以外で平均在院日数が短縮している。
- ③地域包括ケア病棟では、回復期機能と報告した割合がやや多い。
- ④回復期機能で、退院後に他施設で在宅医療を提供する患者が多い。
- ⑤退院調整部門の設置割合が大幅に上昇したが、都平均に比べ低い。